

1. 件名：高浜発電所1号機 計画的な出力降下について
2. 日時：令和6年1月31日 16:00～17:10
3. 場所：原子力規制庁 2階会議室
4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部検査グループ実用炉監視部門

小野上級原子炉解析専門官、高木原子力規制専門員

関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）

高浜発電所 運営統括長 他11名

5. 要旨

関西電力から、高浜発電所1号機で発生した出力降下事象を受けて実施している給水ブースタポンプ（以下「ポンプ」という。）の点検調査の状況について、下記及び資料のとおり説明を受けた。

○Bポンプ入口配管ベント管台からの蒸気漏えいに対する調査

- ・外観観察の結果、有意な外面腐食はなかった。
- ・浸透探傷試験の結果、当該配管の溶接部に浸透指示模様が確認された。
- ・浸透指示模様が確認された部分を切り出し、メーカー工場において破面観察等の調査を実施中。

○Aポンプグランド部からの蒸気漏えいに対する調査

- ・グランド部の分解点検前に、パッキン押さえの取付け状態を確認した結果、ナットの緩み等はなく異常は認められなかった。
- ・グランド部の分解点検の結果、パッキン及びその周辺部に異物混入や有意なき等々の異常は認められなかった。
- ・なお、Bポンプ入口配管ベント管の調査と同様に、Aポンプ入口配管ベント管の外観観察及び浸透探傷試験を実施した結果、異常は認められなかった。

○今後について

- ・Bポンプ入口配管からの蒸気漏れについては、引き続き原因調査を行うとともに、対策を検討する。
- ・Aポンプについては、異常が認められなかったことから、今後、準備が整い次第復旧する。
- ・Aポンプの起動後、Cポンプを停止し、Cポンプ配管のベント管付け根の管台溶接部及びベント管の点検を実施する。

6. 面談資料

- ・ 高浜発電所1号機の出力降下に関する調査状況について（給水ブースタポンプの調査状況）

以上